



教会報ほんじよ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2 TEL: 03-3623-6753 FAX: 03-5610-1732
http://www.catholic-honjyo-church.org

INDEX

- 「フィアット」
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「共同墓参」 「七五三の祝福」
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- その他



「フィアット」

主任司祭 パウロ 豊島 治

十二月のご挨拶を申し上げます。

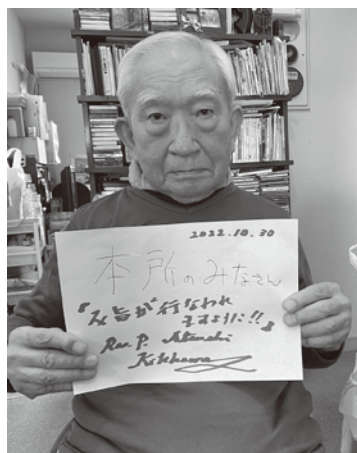
待降節に入り、祭壇も紫の典礼色に彩られ、外観は節電を意識したイルミネーションです。あとは私たち内面の準備です。与えられた四週間を心して過ごしてまいりましょう。

先日、降誕祭の式次第について確認していましたが、降誕祭の式次第にはラテン語式文が含まれていることを知りました。降誕祭の主の祈りはラテン語で唱えることになりそうです。

ミサ典礼において主の祈りは聖体拝領を前にしたところで共に唱えます。私たちを主イエスの食卓に招き入れるものです。「神の子羊の食卓に招かれたものは幸い」との祭壇からの呼びかけに応える宣言は「幸い」を分かち合うものです。

およそ百五十年間本所教会はミサを続けてきました。それは歴代司祭の存在をしめすものです。秘蹟によって存在し秘蹟を与え続ける司祭はその記念を二十五年、五十年、七十年の節目に祝うのが通例です。本所教会の関係では第八代主任司祭吉川敦神父が今年五十年にあたります。

先日、教会を代表して吉川神父様の療養先にお訪ねしました。直接お会いして、何とか本所教会で一緒にミサを行いたいとお願ひするのが私の一番の目的でしたが、病状を伺ってしまった後では提案を切り出せませんでした。でも暖かく人を迎え、真摯に話す姿はお変わりありません。教会へのメッセージをお頼みしたら即座に「み旨が行われますように」を力強く記されました。



主の祈りの前半にもあるこの願ひは故人となった吉川神父様の盟友と呼ばれる方の大切にされているものと療養先の刊行物で理解しました。メッセージを持って写真に写られた神父様には覚悟を持った信仰者の威厳を感じるのです。

以前晴佐久神父様が私に示された言葉がありました

『「御国がきますように」と祈りながら、御国に呼ばれることを恐れるのはおかしい。』

マタイ福音書の「主の祈り」にあることばです。私は日頃「恐れ」を感じたときにみることにしています。今年の主日は主にマタイ福音書が読まれていくことから、深めることができることばです。

マタイ福音書が「神は、わたしたちとともにある（一章二十三節）」という感動的な救い主の誕生の言葉ではじまり、「私は世の終わりまであなたがたとともにいる（二十八章二十節）」という復活の救い主のことばでおわるのは、共にあるという喜びを告げているかのようです。

